

風に向かって ～明日への思い～

先週は、令和3年度の着任式・始業式、そして入学式を行いました。

生徒たちは、新しい学年・学級の中で、まだまだ緊張感をもって生活しているようです。また朝の登校時、学校下の交差点で交わす明るく元気な声による挨拶をうれしく感じています。特に1年生は、中学校生活に慣れるまでには時間を必要とします。毎日の新しい出会いを楽しんでほしいと思っています。

さて、今年度の学校スローガンを、「風に向かって ～明日への思い～」としました。私たちは、生きていく中で、順風や涼風、追い風もあれば、時に、逆風や強風等、さまざまな風を受けます。そのような時、風に立ち向かい、風を感じ、風を切る強さ、たくましさをもって生きよう。そして、夢や志、憧れを胸に抱き、その実現に向けて努力し、明日への思いを形づくってほしいという願いを込めています。

このスローガンは、私の大学時代の恩師である彫刻家：佐藤敬助氏の作品タイトルでもあります。先生の作品を本校に2点寄贈していただきました。作品は、生徒玄関上の2階フロアーに設置していますので、ご来校された際には、ぜひ鑑賞していただきたいと思っています。



新型コロナウイルス感染流行は終息しないまま、新年度を迎えています。思うようにならないことが多くありますが、創意工夫して学校の教育活動を展開してまいります。思うようにいかないから、さまざまに考えて実行することは楽しいもので、学びも大きいと考えます。結果として思うようにならなかったとしても、そこに至るプロセスを大切にしたいと思っています。

<学校教育目標>

「自ら学び 心身ともに しなやかでたくましい生徒の育成」

長崎市立淵中学校 校長 吉原 幹男

生徒と触れ合い、語り合う時間は、まだまだこれからですが、本年度からの合言葉を、

「〇〇合う」として努力していきます。

そこで、**始業式**の中で、生徒たちに「〇〇合う」という言葉から生まれる言葉をイメージしてもらいました。

・支え合う ・学び合う ・高め合う ・磨き合う ・分かち合う

等々 学校は、みんなで生活する場であり、一人ではなく仲間と共に生活し、さまざまに〇〇合う中で、得られる結び、縁、絆をつくりあげる場です。そして、明るく楽しく元気な学校でなければなりません。

淵中生徒全員が、学校生活の中で、共に高みを目指して切磋琢磨し合う中で、友情を育み、平和を多くの人々に発信できる学校でありたいと願っています。人は一人では生きていけないと言われるように、さまざまなかかわりを大切にしていきたいと考えます。

そして、昨日は**入学式**。新入生の緊張した様子が、呼名に対する小さな返事で伝わってきました。ステージ上から新入生を見つめると、強張っている身体と不安な表情も伝わってきました。これからの中学校生活に慣れるまでには時間を必要としますが、毎日が新しい出会いでいっぱいです。登校時の新たな通学路、座席の隣の友人、教科ごとにちがう先生、先輩方との出会い等々に戸惑うことも多いかと思います。不安を払拭して明るく楽しい学校生活を送るためには、まずは笑顔で挨拶することから始めてほしいと思います。

<確認です>